

ふりがな 氏名	は せ のり こ 長 谷 範 子	職 名	教授
取得学位	修士	学会での受賞歴	なし
主な担当科目	社会福祉 地域福祉論 子育て支援 乳児保育1 乳児保育2 保育実習指導1A 保育実習1A		
所属学会	日本保育学会 日本臨床教育学会 日本家庭教育学会 日本発達心理学会 日本教育史学会 武庫川臨床教育学会(2021年4月～2024年3月 理事)		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
教科書「真保育ライブラリ 保育所実習」 北大路書房 ISBN: 978-4762831041	令和2年3月	編集:民秋 言他 著者:大森弘子他15名、 <u>長谷範子</u> 担当:全161ページ中「教材の用意」「保育指導案(例)」(pp.85～86、134)を執筆 本書は、学生が疑問を感じることをQ&Aで解説する形式はそのままに、幼保連携認定こども園、SNSの扱い方、小学校との連携などの項目を扱う。実習事前、実習中、実習後の各段階での学習を振り返る「確認のポイント」や、巻末付録として指導案の書き方例を複数収録した。
教科書「保育の計画と評価」の作成 北大路書房 ISBN: 978-4762831546	令和3年3月	編集:北野 幸子 著者:北野幸子他22名、 <u>長谷範子</u> 担当:全224ページ中「第9章多様な保育の計画と保育評価」(pp.131-140)を執筆 本書は、乳幼児保育の実践の質とはについて、また、その維持や向上を図るための乳幼児保育の計画と評価とは何かを考える。保育現場におけるカリキュラムの内容、その計画と評価の意義と実践の仕方を具体的な事例を挙げつつ概説。自らの専門性の向上を図る上で、記録に親しみ、記録を大いに活用できる力量を形成する素材となるよう編集したものである。
教科書「コンパス保育者論」の作成 建帛社 ISBN:978-4767951317	令和3年4月	編集:上野恭裕、米谷光弘 著者:米谷光弘他8名、 <u>長谷範子</u> 担当:全131ページ中「第7章 保育者の資質向上とキャリア形成」(pp.87-101)を執筆 本書は、「なぜ、人は働くのか」「社会は保育者に何を期待しているのか」という問いに対して、個々の保育者が明解な答えをもち、自己解決していくことが可能となるよう、ケーススタディーやコラム等も盛り込み、保育の職場をより具体的にイメージできるように工夫し、また、できるだけ理解が平易になるよう編集したものである。
教科書「新保育内容「環境」」の作成 教育情報出版 ISBN:978-4909378538	令和5年3月	編集:永渕泰一郎 著者:永渕泰一郎他12名、 <u>長谷範子</u> 担当:全190ページ中「第2章 乳幼児期の発達における環境との関わり」(pp.21-28)を執筆。 本書は、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されている領域「環境」のテキストである。「保育と環境」「子どもと身近な環境」「保育の構想と実践」の3部で構成され、特に第2部はカラーページで写真や図を多く掲載するとともに、ラーニング・ストーリーの学習法を取り入れ、プレシート・ポストシート、ポートフォリオの作成を通して、学生が学びの物語をつくることができるよう工夫されている。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著書	現代保育内容研究シリーズ 保育 をめぐる諸問題Ⅲ	共	令和4年2月	一藝社 現代保育問題研究会編	編集:現代保育問題研究会 著者:長谷範子他7名 全130ページ中「第3章 幼児 教育・保育の内容の変遷とそ の背景」(pp.37-52)を執筆。
論文	子どもの権利と保育ー保育要領、 幼稚園教育要領、保育所保育指針 の検討からー	単	令和元年 12 月	四條畷学園短期大学紀 要 第52号	pp.69~76
学会発表	保育者の子ども理解と評価の視点 ー日本とニュージーランドの比較 からー (ポスター発表)	単	令和元年5月	日本保育学会第72回大 会	
	保育とは何かー子どもの発達援助 と、保護者と協働する保育の創造 ー (口頭発表)	単	令和2年10 月	日本臨床教育学会第9 回大会	
	保育専門職の質の向上に関する 研究ー保育施設における職員構 成の視点からー (ポスター発表) (Zoom)	単	令和2年5月	日本保育学会第73回大 会	
	子どもの権利と保育の評価 (ポスター発表) (Zoom)	単	令和3年5月	日本保育学会第74回大 会	
	子どもの育ちを支える就学前の教 育・保育施設と家庭の役割の变化 ー保育所保育指針・幼稚園教育要 領の改訂を手掛かりとしてー (口頭発表) (Zoom)	単	令和3年8月	日本家庭教育学会第36 回大会	